

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公開番号】特開 2001-148792 (P2001-148792A)

【公開日】平成 13 年 5 月 29 日 (2001.5.29)

【出願番号】特願 平 11-328434

【国際特許分類】

**H 0 4 N 1/60 (2006.01)**

**B 4 1 J 5/30 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/525 (2006.01)**

**G 0 6 T 5/00 (2006.01)**

**H 0 4 N 1/405 (2006.01)**

**H 0 4 N 1/46 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 N 1/40 D

B 4 1 J 5/30 C

B 4 1 J 3/00 B

G 0 6 T 5/00 1 0 0

H 0 4 N 1/40 C

H 0 4 N 1/46 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 14 日 (2006.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

N 色のインクを用い面積階調法にて各色の濃淡を表現するとともに多色のカラーを表現する画像形成方法であって、

ベクタの終始点情報、色情報、線幅情報を含むベクタデータを受けるステップと、

前記ベクタデータの色情報に応じて各インク色の濃度値を生成するステップと、

前記ベクタの少なくとも線幅を予め定めた値と比較するステップと、

前記線幅が予め定めた値以上であれば、各色の色合わせのための補正を前記各インクの濃度値に対して施し、前記線幅が予め定めた値未満であれば、前記色合わせのための補正を省略するステップと、

予め用意したディザマトリクスに対して前記各インク色の濃度値を適用し、各インクに対するマスクマトリクスパターンを生成するステップと、

前記マスクマトリクスパターンを参照して前記ベクタデータをラスタデータに変換するステップと、

該ラスタデータに基づいて前記ベクタの印字を行うステップと

を備えたことを特徴とする画像形成方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

**【課題を解決するための手段】**

本発明による画像形成方法は、N色のインクを用い面積階調法にて各色の濃淡を表現するとともに多色のカラーを表現する画像形成方法であって、ベクタの終始点情報、色情報、線幅情報を含むベクタデータを受けるステップと、前記ベクタデータの色情報に応じて各インク色の濃度値を生成するステップと、前記ベクタの少なくとも線幅を予め定めた値と比較するステップと、前記線幅が予め定めた値以上であれば、各色の色合わせのための補正を前記各インクの濃度値に対して施し、前記線幅が予め定めた値未満であれば、前記色合わせのための補正を省略するステップと、予め用意したディザマトリクスに対して前記各インク色の濃度値を適用し、各インクに対するマスクマトリクスパターンを生成するステップと、前記マスクマトリクスパターンを参照して前記ベクタデータをラスタデータに変換するステップと、該ラスタデータに基づいて前記ベクタの印字を行うステップとを備えたことを特徴とする。